



故郷秋田と共に

〔秋田市観光クチコミ大使〕 ヴァイオリニスト **石 亀 協 子 氏**

小学4年生の頃に秋田から東京に移り、30年近く経ちました。嬉しい事に年に数回は秋田での演奏機会を頂き、市内のコンサートホールのほか、秋田市外の素敵な酒蔵等でも弾かせて頂いております。

現在は東京を中心に活動しており、様々なコンサートツアーに参加する事も多いのですが、秋田への帰郷はいつも新幹線こまちと決めております。車窓に展開する風景や、祖父母と同じような秋田弁の会話、そして段々と気温が低くなり故郷を感じられる車内、その懐かしさに心癒されるのです。

幼い頃に所属していました秋田青少年オーケストラの師である羽川武先生とは、帰郷の度に秋田のお酒を酌み交わすのが恒例となっており、その時間は、ほっと素の自分に戻れる宝物のような時間です。数年前から羽川先生の息子さんとでチェリストの羽川真介さん、お母様が秋田ご出身のピアニストの飯野明日香さんとでトリオを組み、“Trio TAK”として活動しております。

先日の東京での“Trio TAK”のコンサートには、秋田県人会からも大勢の方々が駆け付けてくださり、終了後は秋田のお酒を頂きつつ、素晴らしい夜を過ごす事が出来ました。初対面の方も含め、同郷という安心感と懐かしさの中、皆様の心温かさを改めて感じる事が出来ました。

ヴァイオリニストとしての活動のほか、昨年、長年の夢であったヨガインストラクターの資格を取得致しました。小4でヴァイオリンの勉強の為に東京に引っ越しましたが、環境の変化のせいか、重度のアトピー性皮膚炎を発症し、楽器を弾く事もままならぬ状況に陥りました。その頃に出会った一冊のヨガの本を元に、見よう見まねで呼吸法等を実践し、高校卒業後のヨーロッパ留学中も続けた結果、徐々に症状に改善が見られるようになりました。帰国後、ヨガの専門学校で哲学や解剖学等を

学び、そこでも素晴らしい出会いや気付きを得る事が出来ました。

演奏者は一見優雅に見えるかもしれませんが、実際はほぼアスリートのような生活です。筋肉痛、眼精疲労等は勿論ですが、本番中など集中力も必要とされる為、日々のケアが大変重要なポイントとなってきます。心身共に健康である事が大前提のため、ヨガで学んだ呼吸に意識を向けるという方法と共に、自分の内面の声を聞く時間を持つ大切さを感じております。

この夏以降は、ヨガのレッスンも定期的に行っていく事になりそうです。ヨガは、身体が硬くても初心者でも、どこでも行える素晴らしいものですが、やはり大自然の中で行うその素晴らしさは言葉には尽くせない程気持ちの良いものです。

数年前に、CD“大樹の雫”のリリースにあたり、白神山地で撮影をしました。そのような秋田の素晴らしい大自然の中でヴァイオリンを聴いて頂き、皆様と一緒に簡単なヨガや瞑想等も取り入れたコンサートを行う事が出来たら…、というのが最近の私の大きな夢であり目標です。

自然の中で深呼吸をすると、心が穏やかになり、気持ちが落ち着きます。目に見える物ではありませんが、人生がより豊かに、そして健康でいられる為に是非“音楽とヨガ”、そのような機会を作り、発信していきたいと思っております。

■略歴

秋田市生まれ。小4から東京在住。桐朋学園大学付属高校音楽科を卒業後、ウィーン国立音楽大学入学、ライナーキュッヒル氏に師事。その後、ドイツ・リューベック国立音楽大学にて、シムエルアシュケナージ氏に師事、五年間にわたり、研鑽を積む。帰国後を含め、国内外のコンクールにて最高位他、入賞多数。帰国後は、ソリストとして仙台フィルハーモニー管弦楽団、東京フィルハーモニー管弦楽団、東京シティフィルハーモニー管弦楽団その他オーケストラと共演。宮崎国際音楽祭、ザルツブルク音楽祭その他国内外の多数の音楽祭に参加。現在は、ソロ、室内楽を中心に活動中。公式ブログ<https://ameblo.jp/kyokokamejp>